



神納中だより

神納中学校第93号

平成22年12月20日発行

師走の候、保護者並びに地域の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。全校生徒は、この1年、時には悩んだり、辛い思いをしたこともありました。皆様のお陰をもちまして大きく健やかに成長し、まもなく平成22年の幕を閉じようとしています。

この冬休みは、生徒たちに家庭学習への取組や部活動への参加はもちろんのこと、家族の一員として家のお手伝いをしたり、家族とともにゆっくりと過ごしたりする時間を大切にしてもらいたいと思っています。新年を迎え、1月11日（火）の3学期始業式には、再び元気で明るい笑顔をたくさん神納中学校に頂きますようにお願いします。

さて1・2年生の第Ⅲ期定期テストが12月3日に終了しました。3年生については入試の事務の適正化と円滑な事務処理を図るために、やや実施時期を早め、すでに11月22日に終了しています。このような定期テストが終了する度に、生徒たちの生の声が校長室まで直接伝わってきます。

「校長先生！今回、オレ、英語、ひっでやべえ〜」「やったね、数学は70はいきそう。校長先生、数学得意だった？」「社会科はいいんだけど・・・オレ、国語がなあ〜」等々。生徒の学力のすべてをテストの点数だけで計ることなど到底できることではありませんが、やはり点数は生徒たちにとって強いインパクトがあるものです。自分の努力の成果がテストの得点となって現れ、今後の学習への励みになるような体制づくりが必要な理由はそこにあります。

当校では県教育委員会が行っているWeb配信システムの導入はもちろんのこと、独自に朝学習と連動した国、数、英の基礎学力テストやテスト前の希望制による補講、長期休業中における補充学習などを実施し、生徒の基礎学力の定着に力を入れています。学校からのしっかりとした課題提示と提出された宿題の確認と励ましの言葉、そして家庭との協力による家庭学習習慣の確立が急務の課題となっています。

12月21日には、神納地区小・中学校4カ校の教務主任の先生方が当校を会場に一堂に会し、小・中足並みをそろえた望ましい学習習慣の確立と家庭学習を充実させるための具体的な手立てを話し合いました。

3年生進路指導説明会（11/22 5～6限）

11月22日の5～6限目の時間を使って、生徒・保護者合同進路説明会が行われました。3年生の保護者の皆様におかれましては、平日、お勤めのところ学校までお越しいただき、誠にありがとうございました。この会をきっかけとして、親子で共に中学校卒業後の進路について真剣に考えていただければ幸いです。

当校の進路指導主事、武田昌久先生が、進路選択に当たって特に重要な4項目について、詳細な説明を行いました。

- 1 私立高校、高等専門学校・就職に関する説明
- 2 公立高等学校の推薦選抜に関する説明（特別推薦、一般推薦）
- 3 公立高等学校の一般選抜に関する説明（一般選抜、欠員補充のための2次募集）
- 4 入試日程・進学事務全般について

ご不明な点や理解しにくかった点等ございましたら、どうぞ遠慮なく、担当職員または校長、



教頭までお問い合わせください。



平成24年度修学旅行（現1年生）旅行社選定のためのプレゼンテーションの実施

当校では昨年度、修学旅行実行委員会規程を一部改正し、各旅行社から旅行企画に関するプレゼンテーションをしていただき、その内容によって実行委員会が旅行社を選定するというシステムを確立しました。

実行委員のメンバーの中には、当該学年のPTA学年委員長さんをはじめ、PTA正副会長さんにも入っていただき、旅行社の選定に際し、保護者代表の方々の意向が十分に反映されるような組織づくりを行いました。

今年度は、第1学年主任の丹内重明先生と学級担任の近藤優果先生を中心に、旅行社の選定作業を推進しました。



《平成24年度修学旅行 旅行社選定のためのプレゼンテーション》

- 1 日時 平成22年11月18日（木）18:00～20:00
- 2 会場 村上市立神納中学校 校長室
- 3 内容 平成24年度修学旅行の企画について
- 4 日程
 - (1) 開会のあいさつ〈1学年主任〉 (2) 校長あいさつ
 - (3) プレゼンテーション（五十音順・・・敬称略）
 - ① 近畿日本ツーリスト株式会社
 - ② 株式会社JTB関東
 - ③ 新潟交通株式会社
 - ④ 株式会社日本旅行
 - (4) 旅行社選定会議 (5) 教頭あいさつ (6) 閉会のあいさつ〈1学年主任〉
- 5 参加者 各旅行社（4社）
神納中学校修学旅行実行委員（校長、教頭、教務主任、PTA正副会長、PTA1学年委員長、1年部職員）
- 6 その他
 - 各旅行社はプレゼンテーションの開始時刻の10分前までに来校する。
 - プレゼンテーションの時間には質疑応答の時間を含む。
 - 各旅行社は学校で準備するものがあれば事前に連絡する。
 - 選定結果は後日、各旅行社に書面をもって伝える。

1年生：「性に関する指導」

11月29日

11月29日（月）、「思春期のこころとからだ」と題して、担任の先生と養護教諭で性に関する教育を行いました。

授業では、自分たちは思春期にあたることを確認し、思春期には自立に向けて「こころ」も「からだ」も成長するということを学習しました。その後、こころとからだを大切にするために、思春期をどのように過ごせばよいかマインドマップを用いて考えてもらいました。それぞれの生徒

が自分や友人、家族のこころとからだを大切にするために、自分ができること、やっといこうと思うことを考えることができたと思います。また、授業後の感想を見ると、紙に書くことで自分の考えをまとめやすかったです。

今回の学びや自分で考えたことを実行に移し、思春期を大切に過ごして行って欲しいと思っています。

授業を終えて・・・「1年生 性に関する教育」の感想

【男子】

- ・ 友達の事や自分の事、家族の事を大切にすると改めて思いました。体の事で食事のバランスやよくかんで食べるなどをちゃんとやりたいです。
- ・ 今日、自分でこうやって書いてみると、もっとここをがんばってみようかなという気持ちになりました。とくに、バランスのとれた食事をとる事です。ぼくは、身長が小さいので、カルシウムをとるために牛乳をいっぱい飲みます。
- ・ 体と心を大切にしなきゃいけないなあ～とおもった。こんどからは、食べ物は好き、きらいをしないようにする。おやつもたくさんたべすぎないようにする。あと勉強とスポーツもたいせつにする。

【女子】

- ・ 今日の授業をうけて、からだの変化やこころの変化のことをくわしく知ることができました。プリントに書いた表は、友達の見解など聞くことができたのでいいきかいでした。これからも、友達を大切に！自分も大切に！していきたいです。
- ・ 今日の授業は改めてこころとからだは大切だと思いました。プリントに書いた「だれに対しても優しくする」、「みんなで楽しく過ごす」ということを実行できるようにがんばりたいです。
- ・ こころとからだを大切にすることから、こんなにもいっぱい書けんだなと思いました。私は、友達に優しくしたりしたいです。楽しかった♪です。



(By : 養護教諭 本間菜美子)

高校の先生方による授業参観 (11月30日)

中高連携の一環として、中高教員による授業参観が行われています。私も11月24日に村上高校に出向き、高校1年生の世界史Aの授業を参観させていただきました。さすがは村高の生徒だけあって、授業を受ける態度は真剣そのもの。生徒の中には当校出身の生徒たちもいて、私が校長として誇らしく思ったことは言うまでもありません。

さて、11月30日は村上高校の先生が当校の授業参観をする日でした。当日は野澤恒夫教頭先生がお越しになりました。生徒たちには高校の先生が皆さんの授業の様子を見に来るんだから、今日は特に教室の整理整頓や授業中の態度に気をつけるようにという指導を、あらかじめ先生方をお願いしておいたところです。生徒たちはいつもよりずっと緊張して授業を受けていました。自分たちの良いところをたくさん見ていただこう、という生徒たちの気持ちは大切にしたいと思っています。

来年度、私は桜ヶ丘高校を訪問させていただく予定です。よろしくお願いたします。



生徒会総務役員選挙実施 (12/9)

12月9日(木)の5、6限に、生徒会役員選挙の立会演説会、その直後に投票が行われました。選挙戦は4日間と短い期間でしたが、立候補者とその責任者の生徒は当校の選挙規約にしたがって、朝の登校時に生徒玄関で、そして授業終了後の終学活時に各教室を回って自らの公約を全校生徒に伝えていました。

立会演説会は緊張した雰囲気の中で整然と進められました。事前の準備が行き届いていたためにその後の投票も本格的なもので、投票所や投票箱も神林支所のご協力を得て、実際の選挙に使うものを使わせていただきました。このように生徒には少しでも多くの「本物体験」をしてもらい、確かな価値観を身に付けてほしいと願っています。次に選挙結果を示します。

生徒会長：佐久間 さん 男子副会長：近 さん
女子副会長：大滝 さん 書記長：木村 さん

※2年生の当選した新役員のみなさん、おめでとうございます。惜しくも当選しなかった立候補者のみなさんも次期生徒会の幹部として活躍することを大いに期待します。今回の選挙に携わった立候補者及び責任者、そして選挙管理委員会のみなさん、本当によく頑張りました。心から敬意を表します。



神中生徒に命を救われた猫・・・その後のおむすび

「その後、あの猫ちゃんはどうなりましたか」というご質問が地域の方々から何件か寄せられました。ありがとうございます。

さて、交通事故に遭って瀕死の重傷を負った子猫の命を、神納中学校の1年生男子生徒K君が、救ってあげたことはすでにホームページや学校だよりなどでお伝えしたところです。その子猫はおむすびと名付けられ、現在、我が家で家族の一員として仲良く暮らしていますが、「彼」(おむすびはオスでした)の生活ぶりを少し紹介させていただきます。

11月1日に行われた左後ろ足切断という命がけの大手術を受けた後、術後の経過は極めて良好で、今では3本の足を上手に使ってぴよぴよと跳ねまわったり、犬のブルちゃんと遊んだり、私の手を爪で引っかいたり、やんちゃぶりをいかんなく発揮しています。K君によって命を救われたことを、当の子猫は何も覚えていないかもしれませんが、失いかけていた命を救ったという彼の行為そのものは、それにかかわった人々の心の中に末永く記録としてとどまります。こうした自らの心の中の記録の蓄積こそが私たちにとってとても大切なもの、即ち、その後の私たちの心の有り様に大きな影響を及ぼすものと思っています。



(文責：村上市立神納中学校長 浪花 健一)